

方針	2016年度末に目指す姿	4年間の取組み(社会実験から定着へ)	次期水都大阪への提案
<p>ミッション① ：世界各国から注目される「水と光のシンボル空間」の創出</p> <p>将来像 ：中之島公園、中之島GATEにこれまでにないシンボリックな拠点をつくり、国内外から注目される</p>	<p>●[中之島公園] 賑わいが定着し、府民・市民のさらなる憩いの場となると共にインバウンドでも注目を浴びる</p> <p>●[中之島GATE] フィッシャーマンズマーケット及び周辺エリアでの船のある風景の実現</p> <p>●水都大阪パートナーズのコーディネートを通じて、企業・市民の水辺活用が進むとともに、民間のエリアマネジメントを具体化する</p> 	<p style="text-align: center;">中之島の東西のシンボル拠点の形成：中之島公園周辺・中之島GATE</p> <p>■中之島公園：水辺のまちあそびを通じた賑わいの定常化・風物詩化（水都大阪フェス、オープンテラス他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な賑わいの総合プロデュースの取組み <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織として多数のイベント誘致、新たなプログラム実施と水都大阪フェス実施のための府・市・大商・パートナーズ・国等の会議体を構築、その他文化・スポーツとの連携（大阪クラシック、大阪シティウォークなど） ・オープンテラス、施設前地先利用の取組み実施等による水辺ビジネスモデルの確立 ○水辺の賑わいイベントと企画クルーズを連携させた賑わいづくり <ul style="list-style-type: none"> ・多数の企画クルーズ実施による賑わい創出（ナイトクルーズの実施・淀川舟運との連動等） <p>＜課題＞ ●既存事業者や協議会等との賑わいのプラットフォーム形成</p> <p>■中之島GATE：中之島漁港を核にした周辺エリアを含めた賑わい創出・誘客の実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中之島GATEサウスピア：ポテンシャルの低いエリアでの段階的な社会実験を経た中之島漁港の事業誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・STAGE 2 まで（H31年度末）の期間において、将来活用に向けた事業の発展的継続 ・目標を上回る来場者数及び売上の実現 ○中之島GATEノースピア：福島区側の海の駅開業（H29年春）等、賑わいづくりへの支援 ○中之島GATE上流部：ぼんぼん船船着場の待合開設（H28年12月）等の賑わいづくりへの支援 <p>＜課題＞ ●H32年度以降（STAGE 3 期間）の事業スキームの構築</p> <p style="text-align: center;">水の回廊「利活用の手続き簡便化や民間投資の促進」+ 舟運活性化「クルーズ企画や来訪者への環境整備」</p> <p>■水の回廊の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大阪城ハーバー：関係者で検討会設立（H25年度～）→H28年度、大阪城港周辺の準則特区指定を視野に社会実験の実施等 ○本町橋BASE：水辺の賑わい拠点の事業計画策定と共に地先利用やイベント・社会実験等の実施 ○民間事業者誘致のための連携支援：大正リバービレッジ ○賑わい化トライアル：4区連携事業と共に中之島バンクス（リバーサイドマーケット）・ほたるまち（コーヒー＆テーブル）等の支援 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各拠点での賑わい形成のための準則特区指定（大阪城ハーバー、本町橋BASE） ●地先利用促進（協議会設立が課題）→特に東横堀川沿いの地先利用促進等 <p>■舟運の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○舟運活性化ワーキング（H26年～）を設立し、様々な活性化のための社会実験を実施（ナイトクルーズ、企画クルーズの旅行商品化、水辺バル、レンタルボート、係留社会実験等） ○八軒家浜社会実験（企画クルーズ、船の発着・待機機能強化、水陸の連携、船着場の情報発信等） <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●八軒家浜の舟運拠点空間づくり（係留場所の確保、船着場使用ルールの柔軟な運用、水辺への案内機能強化） 	<p style="text-align: center;">中之島公園と中之島GATE</p> <p>■中之島公園（公園周辺含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水都大阪フェス等を核とした更なる定着と連携事業の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・中之島公園の年間を通じた四季のイベントへの定着 ・水都大阪フェスの取組エリアの拡大（淀川等） ・水と光の事業連携の促進 ○クルーズ企画などツーリズムと連動した水辺の賑わい創出 ○周辺事業者等との更なる連携によるエリアマネジメントへの挑戦 <p>■中之島GATE及び周辺エリア（中之島漁港、その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○GATEエリアにおける連携の強化と賑わいの創出（サウスピアの海の駅指定、クルーズサービスや係留施設の充実等） ○中之島漁港を核とした食や水辺のアクティビティ・イベントの開催による集客の仕掛け ○賑わい創出に向けた規制緩和等の検討 <p style="text-align: center;">水の回廊と舟運の活性化</p> <p>■水の回廊の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○準則特区を活かした大阪城ハーバー水辺拠点化 ○本町橋BASEの拠点整備と準則特区指定に併せた東横堀川の賑わいと地先利用の促進 <p>■舟運活性化：クルーズ企画や来訪者への環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○八軒家浜舟運拠点空間づくりの取組み <ul style="list-style-type: none"> ・四季を通じた賑わいの創出 ・多くの船を集めるための棧橋等のハード整備 ・情報発信機能の強化 ○多様なクルーズの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・各港を結ぶクルーズ企画への注力
<p>ミッション② ：国内外から観光客が訪れる「水と光のテーマパークの実現」</p> <p>将来像 ：水の回廊をめぐる拠点が多数できていると共に、水の回廊を船で巡るクルーズ商品・観光商品化により、国内外から観光客が訪れる</p>	<p>●川に向かい水辺を活かしたまちができる</p> <p>●定期船や観光クルーズ等の船が川を行き交っている</p> <p>●美しい水辺景観が広がり光で輝いていると共にナイトクルーズも定着</p> <p>●情報発信、プロモーション等、水都大阪全体の魅力が向上し、国内外に水都大阪が知られる</p> 	<p style="text-align: center;">水都大阪の魅力発信、プロモーション</p> <p>■質の追求（ブランディング化）+量への対応（インバウンドの水辺への取込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水都大阪のイメージ構築に向けた視覚に訴えるPRの実施（素材の収集、コンテンツの作成を含む） ○国内外メディア等を活用した水都大阪のプロモーション（国外5誌、国内75誌、ミズベリング世界会議） ○大阪観光局と連携した東京エリアでの情報発信 ○留学生と共同した母国語による水都大阪関連イベント情報等の発信 ○シビックプライド醸成に向けた「水都大阪サポーター」の養成と水都関連イベントでの活動 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水都大阪のブランディングの強化 ●インバウンド取り込みのためのプロモーションの強化 <p style="text-align: center;">水都大阪の推進体制（推進会議+パートナーズ+オーソリティ）</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国初の官民推進体制の構築（経済界、府市都市魅力戦略の一体推進） ○公共空間活用の事業モデルの推進（社会実験からの展開） ○国内外からの評価（全国行政機関、民間事業者等による視察など） <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民間投資の事業内容や規模に応じた事業期間の確保及び呼び込み手法の開発 ●関係機関との連携や役割分担（観光局とのプロモーションの連携強化等） 	<p style="text-align: center;">水都大阪の魅力発信、プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水都大阪を象徴するキービジュアルの発掘と内外への発信 <ul style="list-style-type: none"> ・水と光を活かした夜景、水都を彩る四季、歴史・文化、クルーズ等水都大阪の資源を活かした提案型のビジュアルなど ○シビックプライドの醸成に向けた小学生等次世代への「水都大阪」の発信と体験機会の提供